

平成 18 年度北条コミュニティ運営方針

1 運営方針

平成 18 年度は、地域の皆さまが安心してふるさと北条で暮らせるような事業に取り組んでまいります。

○「ふるさと市場」の開設

過疎・高齢化の伸展が著しい当地区内には食料品を販売する店舗がなくなり、高齢者や障害のある方は日々の食事に困っています。そこで、昨年度から、惣菜を中心にした「ふるさと市場」開設の可能性を探ってきました。このたび、販売施設が決定し、5月下旬ころを目途に開店準備を進めています。この市場では、他に地元農産物の流通や手芸・工芸品などの開発を進め、高齢者の生きがい創出にも役立ちたいと考えております。

○安心・安全のまちづくり

地区内全町内会で自主防災組織を立ち上げ、コミュニティにおける自主防災組織を強固なものにしてまいります。組織を実効性のあるものにするため、消防庁の「地域安心安全ステーション整備モデル事業」に応募し、防災資機材を備えるとともに、防災訓練の実施、防災意識向上のための啓発活動など地域ぐるみで取り組んでまいります。なお、この消防庁モデル事業の防災訓練と全町内会合同の防災訓練も併せ、10月上旬に地域を挙げた大規模訓練の開催を予定しています。このため、例年この時期に実施しているコミュニティ祭りを連続して実施することは難しく、コミュニティ祭りは一年休ませていただくようになります。しかし、防災訓練後は地区民の触れ合いの場としてイベント広場や作品展等が開催できるよう前向きに検討してまいります。

近年、全国的な問題になっている不審者出現については、北条地区でも発生しています。北条地区防犯連絡協議会と連携しながら、見守りキャップの有効活用、防犯マップの作成、防犯意識の啓発活動等、体制づくりと防犯活動を実施していきます。

2 活動計画

(1) 専門事業推進室

地域環境室

- ア コミュニティ前広場及びコミュニティロビーの整備
- イ 中学校前のフラワーロードづくり(北中学生会と共催)
- ウ 「柏崎・夢の森公園」見学会の開催

教育振興室

- ・ 北条年表の作成とパネル化を生涯学習講座に位置付けて実施する。
- ・ 「北条のお城のお話」(仮称・17年度執筆)の印刷と製本化

ふれあい推進室

- ア 地区民親睦体育祭 6月11日(日)
- イ ぎおん民謡街頭流し 7月24日(月)
- ウ 地区民親睦旅行(募集人員約50人)
- エ 第2回スノーフェスティバル(実行委員会) 2月

住民起業室

- ア 「ふるさと市場」の開設(案)
 - 場 所 コミュニティセンター前の荒川弘さん車庫の一角を借用
 - 開 店 5月下旬(予定)・週3回・午後から開店
 - 販売品 惣菜・農産物・山菜・手工芸品・花苗・野菜苗等
- イ 花及び野菜苗の育苗と販売

人材バンク

- ア 人材バンク「北条地区助け合いセンター」の運営
- イ 社会福祉協議会(基本事業の補助金120,000円・独立会計)
 - ・ 愛友会(年5回開催)の支援
 - ・ 地域福祉を支える関係機関との連携事業...はつらつ健康教室とお楽しみ会 6/3(土)
 - ・ 家庭教育学級の開設
 - ・ 生きがい事業

山なみ編集局

コミュニティ広報「山なみ」の発行毎月(編集・打ち込み・印刷・配布)

安全対策室

- ア 北条地区全町内会の自主防災組織の立ち上げ
- イ 地域安心安全ステーション整備モデル事業の取り組み
- ウ 北条地区防災訓練(仮称) 10月1日(日)
- エ 防犯活動(北条地区防犯連絡協議会と連携)